

音声嚥下外来開設のお知らせ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 原 洸 保 明

声を出すこと（発声）、食べ物を飲み込むこと（嚥下）は私たちの日常生活において非常に大切な行為です。普段は特に意識せずに行っていますが、ひとたび障害が生じた場合には著しい QOL の低下を来たします。発声や嚥下が正しくおこなわれるためには、身体の中の様々な器官が協調のとれた形で活動することが必要です。なかでも私たち耳鼻咽喉科医が日常診療で診察する機会の多い喉頭・口腔・咽頭・鼻腔は、正常な発声や嚥下を引き起こすために重要な役割を果たす器官です。

このたび耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来では音声嚥下外来を毎週木曜日午後新たに開設いたします。音声障害は声が出ない、声が哽れる、しゃべりにくいなどの声と言葉の異常を対象としております。嚥下障害は物を飲み込むことができない、食事に時間がかかる、物を飲み込んだあとにノドがごろごろするなど嚥下に関わる異常を対象としております。こ

の外科では、日本気管食道科学会認定医が診療を担当します。嚥下や音声を専門とする医師が時間をかけて診察、検査をおこないながら、リハビリ指導や手術などをおこなう予定です。

最近では、鼻から胃管を入れたり、胃瘻を作った方を多く見かけるようになってきました。どのような手段を用いても十分な栄養を摂取することは大切ですが、可能であれば口から食べる楽しみを持ちつづけることは人間らしい生活を続ける上で必要不可欠です。1人でも多くの人の音声障害や嚥下障害を軽減できるよう、診療にあたりたいと考えております。音声障害や嚥下障害の患者様がおられましたら、どうぞ耳鼻咽喉科外来まで御紹介くださいますようお願い申し上げます。